

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」



大阪市立放出小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立放出小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標 (概ね4年以内でめざす目標)

現状と課題

○令和3年度小学校学力経年調査(算数科・国語科)では、大阪市平均(標準化得点)と比較して、5・6年生は0.1P、0.6P下回っており、3・4年生はともに1.2P上回っている結果であった。

○令和3年度小学校学力経年調査児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は37.9%で、令和2年度の32.6%より伸びてきている。

○児童質問紙「普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、ネット(インターネット)を使って、動画を見たり、ゲームやSNSをしたりしますか」に「3時間以上」と回答した児童は28.5%、「学校が休みの日」については、「3時間以上」と回答した児童は45.7%であった。普段は3割近い児童が、休みの日については半数近い児童が、3時間以上ネットで動画を見たり、ゲームやSNSをしたりしている状況である。

○いじめ事案については、年間3回のいじめアンケートの実施、「いじめについて考える日」の設定等の取組の中、早期発見・早期解決・未然防止の取組を進めてきた。しかし令和3年度小学校学力経年調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について「思う」と回答をしている児童は83.8%にとどまっている。

学習者用端末の活用は、学校内での活用だけでなく、家庭学習での活用も進んでいる。ICT機器の使用が日常化する現在、指導者が、学習活動の中でのICT機器の有効的な活用方法について研究することは、指導力向上の取組の中で、最も大切な項目の一つである。

ICT機器の普及により、本来体験できないようなことも動画等で知識を得ることができる。たくさんの情報の中から、必要な情報を集めるツールとしても大変有効的である。しかし、内容によっては、実際の体験でしか得られない楽しさや感動がある。「ICTを活用した学習活動」と「体験的な学習活動」を合わせて行い、学級の友達と話し合い、交流する中で、自分の考えを深め広げることが大切である。

また、安全安心な教育を推進するためには、ICT機器の普及にあった情報モラルの指導をすること、どんな理由があっても、いじめはいけない、と伝える取組を継続的に推進すること等が大切である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

●年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1.82%より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント以上向上させる。

○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ICTを活用した協働学習を月4回以上実施する。

○ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

◎ (教職員の働き方改革) (2学期以降の) 保護者あて配布手紙の80%以上をデータ配信にする。ただし、メール登録困難な保護者には、紙媒体での配布とする。

◎ 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合目標: 75%とする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **81.0%以上** にする。（令和4年度 80.6% 令和5年度 82.2% 令和6年度 80.9%）
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を 1.82%より減少させる。（令和4年度 4/596→0.67 令和5年度 11/598→1.83 令和6年度 9/582→1.54）
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校独自の目標

- ◎小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答を **84.2%以上** にする。（令和4年度 86.8% 令和5年度 82.5% 令和6年度 84.1%）
- 避難訓練や地域防災訓練や防災の取組を年間3回以上実施する。 3回実施
- 「普段（月～金）学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていきますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を 39.0%より減少させる。（令和5年度 35.3% 令和6年度 39.0%）

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を **40.3%以上** にする。（令和4年度 39.5% 令和5年度 40.6% 令和6年度 40.2%）
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。（4年国 0.88→0.96 算 0.89→1.01 5年国 1.03→1.01 算 1.07→1.02 6年国 0.98→0.90 算 1.06→0.91）
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **67.0%以上** にする。（令和4年度 82.8% 令和5年度 70.2% 令和6年度 66.9%）
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を **84.5%以上** にする。（令和4年度 83.8% 令和5年度 87.0% 令和6年度 84.5%）
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を **73.6%以上** にする。（令和4年度 68.8% 令和5年度 74.9% 令和6年度 73.6%）

#### 学校独自の目標

- 小学校学力経年調査における「算数の授業の内容はよくわかりますか」について、肯定的に回答する児童の割合を **83.2%以上** にする。（令和4年度 84.7% 令和5年度 83.4% 令和6年度 83.1%）
- ◎校内外において、学びを支える体験的活動・専門性のある学習体験・本物に触れる体験学習を各学年、年間2回以上実施する。各学年2回以上実施済
- ◎小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」について肯定的な回答を、**87.0%以上** にする。（令和4年度 87.0% 令和5年度 84.5% 令和6年度 86.9%）
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」について肯定的な回答を **73.7%以上** にする。（令和4年度 71.7% 令和5年度 74.8% 令和6年度 73.6%）

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。  
R6年度：6月のみ達成（それ以外の月は目標を下回る）
- （教職員の働き方改革）ゆとりの日を週に1回設定・実施する。計画通り実施

#### 学校独自の目標

- （教職員の資質向上）専門知識のある外部人材活用による校内研修会、算数科全国研究大会での授業公開を実施する。計画通り実施
- ◎（教職員の働き方改革）2学期以降の保護者あて配布手紙の80%以上をデータ配信にする。  
ただし、メール登録困難な保護者には、紙媒体での配布とする。計画以上に実施

## 3 本年度の自己評価結果の総括

### 【安全・安心な教育の推進】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立放出小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</b></p> <p>●小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <b>81.0%</b>以上にする。（令和4年度80.6%令和5年度82.2% 令和6年度80.9%）</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1.82%より減少させる。（令和4年度4/596→0.67 令和5年度11/598→1.83 令和6年度9/582→1.54）</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p><b>学校独自の目標</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答を <b>84.1%</b>以上にする。（令和4年度86.8%令和5年度82.5% 令和6年度84.1%）</p> <p>○避難訓練や地域防災訓練や防災の取組を年間3回以上実施する。R6 3回実施</p> <p>●「普段（月～金）学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を35.2%より減少させる。（令和5年度35.3% 令和6年度39.0%）</p> <p><b>取組内容 1－①【安全・安心な教育環境の実現】（児童理解の充実）</b></p> <p>○生活指導部会を開催し、児童の遅刻・欠席数の多い児童について情報共有し、改善に向けての方策を協議する。</p> <p>○登校支援ルームの利用状況と児童の様子について、情報共有を行う。</p> <p><b>指標</b> 生活指導部会を月に1度開催する。</p> <p><b>取組内容 1－②【安全・安心な教育環境の実現】（防災・減災教育の推進）</b></p> <p>○災害時や緊急時を想定した取り組みを、全校児童で実施する。</p> <p>○地域の方と一緒に防災の取組を行う。</p> <p><b>指標</b> 避難訓練や地域防災訓練や防災の取組を年間3回以上実施する。</p> <p><b>取組内容 1－③【豊かな心の育成】（キャリア教育の推進）</b></p> <p>○劇鑑賞、各分野で活躍する人材による出前授業、体験的な活動等を通して自分らしい生き方の実現に向けた力を育成する。</p> <p><b>指標</b> 小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」について肯定的な回答を、87.0%以上にする。（令和4年度86.7%令和5年度84.5% 令和6年度86.9%）</p> <p><b>取組内容 1－④【豊かな心の育成】（多文化共生教育の推進）</b></p> <p>○外部講師を招聘し、外国の文化にふれる。また、多文化共生週間を設定し、各学年で「多文化共生教育」をテーマにした実践を行う。</p> <p><b>指標</b> 「多文化共生教育」をテーマにした実践を年間2回以上実施する。</p> <p><b>取組内容 1－⑤【安全・安心な教育環境の実現】（ネットリテラシーの向上）</b></p> <p>○SNS に潜む危険性を学び、自分だけでなく社会や他者にも影響があることを意識づける。</p> <p>○学校外で端末に触れる時間を減らす取り組みを行う。</p> <p><b>指標</b> 「普段（月～金）学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を35.2%より減少させる</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <b>40.3%</b>以上にする。（令和4年度 39.5% 令和5年度 40.6% 令和6年度 40.2%）</p> <p>●小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント以上向上させる。（4年国 0.88→0.96 算 0.89→1.01 5年国 1.03→1.01 算 1.07→1.02 6年国 0.98→0.90 算 1.06→0.91）</p> <p>●小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>67.0%</b>以上にする。（令和4年度 82.8% 令和5年度 70.2% 令和6年 66.9%）</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>84.6%</b>以上にする。（令和4年度 83.8% 令和5年度 87.0% 令和6年度 84.5%）</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を <b>73.7%</b>以上にする。（令和4年度 68.8% 令和5年度 74.9%令和6年度 73.6%）</p> <p><b>学校独自の目標</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童を <b>86.2%</b>以上にする。（令和4年度 90.6% 令和5年度 87.6% 令和6年度 86.1%）</p> <p>○校内外において、学びを支える体験的活動・専門性のある学習体験・本物に触れる体験学習を各学年、年間2回以上実施する。各学年2回以上実施</p> <p>◎小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」について肯定的な回答を、<b>87.0%</b>以上にする。（令和4年度 87.0% 令和5年度 84.5% 令和6年度 86.9%）</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	評価
<p><b>取組内容2－①【誰一人取り残さない学力の向上】（主体的・対話的で深い学びの推進）</b></p> <p>○授業研究を行ったり、外部講師を招聘し助言や研修を受けたりして、指導力の向上を推進する。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 小学校学力経年調査における「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対して、肯定的に回答する児童を86.2%以上にする。（令和4年度90.6% 令和5年度87.6% 令和6年度86.1%）</p>	
<p><b>取組内容2－②【健やかな体の育成】（体力運動能力向上のための取組の推進）</b></p> <p>○体力保持をするとともに、運動に親しむために「縄跳び週間」「マラソン週間」を設定する。</p> <p>○健康保持のため「せいけつ週間」「姿勢シャキーン週間」「元気アップ週間」を設定する。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に「好き」と回答する児童を73.7%以上にする。（令和4年度68.8%令和5年度74.9%令和6年度73.6%）</p>	
<p><b>取組内容2－③【誰一人取り残さない学力の向上】（外国語（英語）教育の推進）</b></p> <p>○英語の短時間学習を全学年とも計画的に行う。</p> <p>○C-NETを活用し、全学年で英語を用いた活動をする。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 小学校学力経年調査において「外国語（英語）の勉強は好きですか」に肯定的回答を84.6%以上にする。（令和4年度83.8%令和5年度87.0% 令和6年度84.5%）</p>	
<hr/>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」</b></p> <p>●授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。</p> <p><b>学校独自の目標</b></p> <p>◎（教職員の働き方改革）2 学期以降の保護者あて配布手紙の 8 0 % 以上をデータ配信にする。 ただし、メール登録困難な保護者には、紙媒体での配布とする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」について肯定的な回答を <b>73.7%</b> 以上にする。（令和 4 年度 71.7% 令和 5 年度 74.8% 令和 6 年度 73.6%）</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	評価
<p><b>取組内容 3－①【教育 DX の推進】（ICT を活用した教育の推進）</b></p> <p>○ICT 機器やプログラミング教材を活用し、実践と ICT を組み合わせることにより、子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びを推進する。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 学習時に ICT を活用した話し合い活動を各学級月 3 回以上実施する。（ただし 1 年生は 2 学期以降） 情報モラル教育を各学級年 2 回以上実施する。（ただし 1 年生は 2 学期以降）</p>	
<p><b>取組内容 3－②生涯学習の推進】（学校図書館を活用した教育の充実）</b></p> <p>○読書活動および様々な学習における図書の活用を推進し、言語能力・情報活用能力を育成する。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 小学校学力経年調査において「読書は好きですか」に肯定的回答を 71.6%以上にする。 （令和 4 年度 7 1 . 9 % 令和 5 年度 7 4 . 8 % 令和 6 年度 7 1 . 5 %）</p>	
<p><b>取組内容 3－③【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】（働き方改革の推進）</b></p> <p>○学校園の働き方改革推進プランに基づき教員が働きやすい環境となるよう会議等の精選を行う。</p> <hr/> <p><b>指標</b> 「ゆとりの日」（ノー会議デイ・ノー残業デイ）を週 1 回以上設定し、実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	